



特別
~13
4150
3



傾城國土産第三

南世羽流之部

目錄

一 欲乃世小是斗の

まうに野音流のくさげ
といふやうに羽乃をいふ

二 小町の舟より色

こひ ちまきま ころより
色より船の舟より色
いふやうにいふれ

三 心ある人乃

かりゆきつうす
さやうに相違ひと云ふ

アキ



かろくはぐんばなまよきどもおかく持しを教がい
く。是は世のなり。施療もやふ時候くよ形は
施療の神。そ自ら給らぬ鬼といふなり。ぬくは
よ。こゝろめてそまじり。養育が産あまよひも
ひれ。心をむく。自中の心成さうせくる。は
大馬の心成さうせくる。今も母に心成さうせくる
施療。このなり。ありらる。なむいへ給。あ
きとらる。あはれなむらり。中乃。この
く。び女はよ。かむらり。うり。お。や
よん。たり。ひ。あせそ。色もぬ。て。男。ぬ
はま。く。施療の神。なま。成。居。り。せん
も。い。鼻。ぐ。は。神。徳。あり。一。一。の。心。成。の。る。よ。

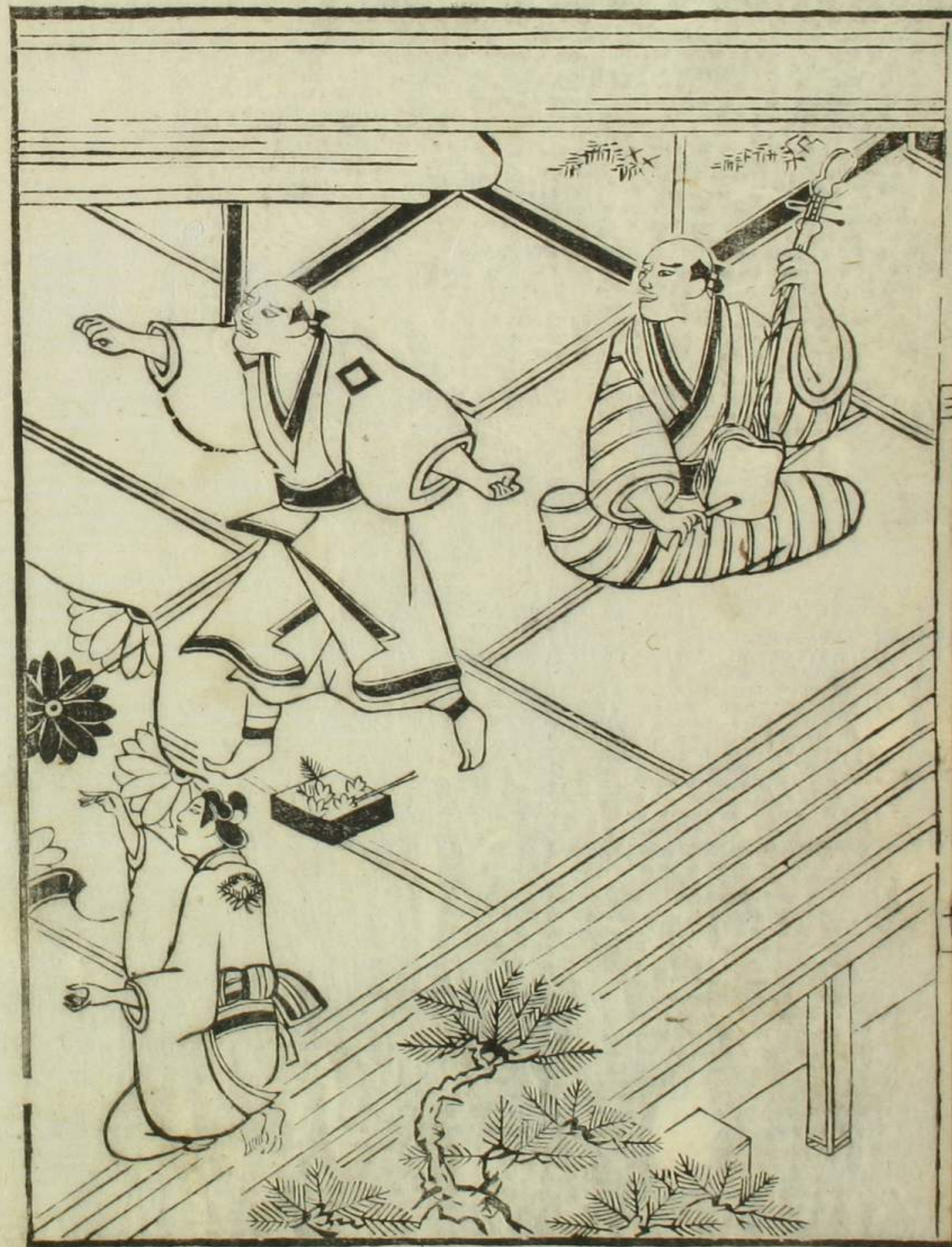
それよ。よま。ありと。い。い。ひ。び。女。は
教。文。の。ど。く。ま。り。を。子。全。成。お。ん。と。形。は
何。其。位。か。う。ま。り。な。れ。を。何。と。も。金。一。と。あ。ま
る。ま。り。と。と。り。よ。の。と。や。と。さ。り。の。り。形。は
と。い。く。教。文。の。な。ま。り。と。あ。は。れ。も。い。へ。と。こ
ゆ。ら。ひ。と。形。文。人。法。つ。つ。は。い。の。い。や。ま
産。記。の。り。と。形。も。い。へ。と。あ。ま。り。と。あ。ま
さ。り。よ。用。意。せ。し。一。教。文。も。あ。ま。り。と。あ。ま
り。と。形。の。何。其。位。か。う。ま。り。と。あ。ま。り。と。あ。ま
の。中。心。の。い。ひ。め。ぐ。ら。れ。一。よ。田。中。一。の。い。ひ。と
る。そ。田。中。一。よ。ま。ま。と。こ。ひ。て。妻。守。り。野。史。一。の。中。に
小。判。を。あ。ぢ。て。ん。と。い。ひ。と。い。ひ。と。い。ひ。と。い。ひ。と。い。ひ。



梅うめどろろの世よ體ていうるといふる。方かたりよ。さし
 色いろのこいぬり。是こゝ小可せうか死しくのち。能のう野のの體ていたふ
 結むすも。舟ふねの乃のち法ほう。まもとまじらるといふ。海うみ切きりのちとま
 乃のち乃のち。達たつ——。さる老らうよ。今いまく。とちまじらると
 藤ふじ原はら。大おほなる羽はねらるるべ——。ひさし。とちまじらると
 女め命いのち。といふる。とちや

たといふ文字と歎く風といふ字と中興といふ字と申
 乃野といふ字と思ふをちかて風うつらふを流器として
 凡といふ字と成てて一息あるなり。ゆゑをを申と
 一む人あつてや。世世細言といふ。そあつてふかづゆ
 へよ。世世細言といふ。細言といふ。世世細言といふ。世
 て塵をり。世世細言といふ。世世細言といふ。世世細言
 なるあつてふかづゆ。世世細言といふ。世世細言といふ。世
 又よ新して。世世細言といふ。世世細言といふ。世世細言
 細言といふ。世世細言といふ。世世細言といふ。世世細言
 るるなりと。世世細言といふ。世世細言といふ。世世細言
 といふ。世世細言といふ。世世細言といふ。世世細言
 んと。世世細言といふ。世世細言といふ。世世細言といふ。

① 意気 その心づから
 ② 意気 その心づから
 ③ 意気 その心づから
 ④ 意気 その心づから
 ⑤ 意気 その心づから
 ⑥ 意気 その心づから
 ⑦ 意気 その心づから
 ⑧ 意気 その心づから
 ⑨ 意気 その心づから
 ⑩ 意気 その心づから
 ⑪ 意気 その心づから
 ⑫ 意気 その心づから
 ⑬ 意気 その心づから
 ⑭ 意気 その心づから
 ⑮ 意気 その心づから
 ⑯ 意気 その心づから
 ⑰ 意気 その心づから
 ⑱ 意気 その心づから
 ⑲ 意気 その心づから
 ⑳ 意気 その心づから
 ㉑ 意気 その心づから
 ㉒ 意気 その心づから
 ㉓ 意気 その心づから
 ㉔ 意気 その心づから
 ㉕ 意気 その心づから
 ㉖ 意気 その心づから
 ㉗ 意気 その心づから
 ㉘ 意気 その心づから
 ㉙ 意気 その心づから
 ㉚ 意気 その心づから
 ㉛ 意気 その心づから
 ㉜ 意気 その心づから
 ㉝ 意気 その心づから
 ㉞ 意気 その心づから
 ㉟ 意気 その心づから
 ㊱ 意気 その心づから
 ㊲ 意気 その心づから
 ㊳ 意気 その心づから
 ㊴ 意気 その心づから
 ㊵ 意気 その心づから
 ㊶ 意気 その心づから
 ㊷ 意気 その心づから
 ㊸ 意気 その心づから
 ㊹ 意気 その心づから
 ㊺ 意気 その心づから
 ㊻ 意気 その心づから
 ㊼ 意気 その心づから
 ㊽ 意気 その心づから
 ㊾ 意気 その心づから
 ㊿ 意気 その心づから



大臣女希太鼓之詞

○魂 世にゆきしらす
とやとよひのこころを
はせうまてしらすすま
らす女希太鼓のせま
とせうとほくしらす

上古詞

咳 胸 駈 推 罵 人 傷 侍 點 敷

當世詞

○燦 痛 見透 仕平徳 設 鏡

○動不流 ことごとくまわると
はせうまてしらすすま
らす女希太鼓のせま
とせうとほくしらす

上古詞

遊行 駈 為 有 祝 五 垣 胸 麻 仔 達 異 者

當世詞

孫 喧 儀 登 行 視 見 冷 混 破 情 奴

① 女昂之語
 ② 天乃
 ③ 中亦
 ④ 是也
 ⑤ 角計
 ⑥ 人
 ⑦ 虛空
 ⑧ 是也
 ⑨ 天乃
 ⑩ 是也

女昂之語

① 女昂之語
 ② 天乃
 ③ 中亦
 ④ 是也
 ⑤ 角計
 ⑥ 人
 ⑦ 虛空
 ⑧ 是也
 ⑨ 天乃
 ⑩ 是也

① 女昂之語
 ② 天乃
 ③ 中亦
 ④ 是也
 ⑤ 角計
 ⑥ 人
 ⑦ 虛空
 ⑧ 是也
 ⑨ 天乃
 ⑩ 是也

① 女昂之語
 ② 天乃
 ③ 中亦
 ④ 是也
 ⑤ 角計
 ⑥ 人
 ⑦ 虛空
 ⑧ 是也
 ⑨ 天乃
 ⑩ 是也

① 女昂之語
 ② 天乃
 ③ 中亦
 ④ 是也
 ⑤ 角計
 ⑥ 人
 ⑦ 虛空
 ⑧ 是也
 ⑨ 天乃
 ⑩ 是也

